

協働学習
支援ツール
【中・外国語科】

共有機能

中学校 第1学年 外国語科

Unit8 A Surprise Party 話すこと【やり取り】

- (1) ねらい 友達の意外な一面を知るために、放課後の生活について現在進行形を用いてたずねたり答えたりすることができる。
 (2) 評価規準 放課後の自分の生活について現在進行形を用いてたずねたり、質問に答えたりしている。
 (知識・技能/本時では記録に残す評価は行わない)
 (3) 学習展開 (5/8)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1. Small Talk ○【SI】世界の学校生活について伝え合う。 S1 : Look at this picture of Canada. They are using English in school. S2 : Are they using French too? S1 : Yes, they are.	・中間交流では、①表現の良さ、②困り感の解決、③コモンエラーを共有する。 ・③では、生徒の気づきを促し、解決する。
展開	2. 課題化 ○教師との Oral Interactive Introduction を通して、課題を理解する。 T1 : Look at this picture. What am I doing? S : Are you playing running? T1 : No. I'm not. I'm playing rugby. S : Really? T1 : Yes! I want to know about you more. Your friends do, too. What do you do after school? Today, let's play quizzes about your after school.	【ICT活用の工夫】 ・写真をプロジェクターに映し出し、実際にやり取りを通して、クイズのやり方やモデルを示す。 ・活動1ではジェスチャーカードを用意し、テンポよく活動に取り組めるようにする。 ・生徒たちが現在進行形を正しく使用しているかどうか机間指導をして見届ける。
終末	3. 活動1【SI, W】 Let's talk about "our life after school" クイズを出し合い、友達の 意外な一面 を知ろう。 ○教科書 P.81 の Speak & Write に取り組む。 S1 : (ジェスチャーをしながら) What am I doing? S2 : Are you playing the guitar? S1 : Yes, I am. → 次の問題。 / No, I am not. → もう一度。	・活動を継続するための表現や現在進行形の意味や形が意識できるようにスクリーンや黒板に位置付ける。 ・Small Talk と同じ視点で中間交流を行い、指導の場をもつ。 ・生徒が話したい内容をもとに、「どんな表現が使える?」などとたずねたり、教科書の表現を教えたりしながら机間指導を行う。
	4. 活動2【SI】 ○放課後の一場面が写った写真を示しながら、ペアでクイズをする。 S1 : Look at this picture. What am I doing? S2 : Are you running? S1 : Yes, I am. Do you like running? S2 : No, I don't.	【ICT活用の工夫】 ・生徒は言い方が分からない表現を共有ノートに随時書き込む。 ・指導者は共有ノートに書き込まれた内容を机間指導や中間交流に生かす。
	・ペアを交代しながら何度かやり取りを行う。 ・中間交流の際に、代表生徒がクイズをする。 ・中間交流後、ペアを変えて再度活動を行う。	
	5. 本時の学びを振り返る ・本時の課題を達成できたか振り返る。	【ICT活用の工夫】 ・生徒は必要に応じて、写真を拡大したり縮小したりしながら、クイズを出したり説明したりする。

